



全国高校総体優勝おめでとう

全国高等学校総合体育大会の相撲競技で優勝し、高校横綱となった石鏡町出身で金沢市立工業高等学校2年の城山聖羅さんが8月22日、市長室を訪れて初優勝を報告しました。

城山さんは、父の影響で小学1年生から相撲を始め、強豪といわれる金沢市立工業高校へ進学しました。「来年も連覇目指して頑張ります」と抱負を語ってくれました。

木田市長は「鳥羽市から素晴らしい選手が出たので今後を楽しみにしています。これからの活躍を期待しています」とエールを送りました。



リサイクルパーク来場者15万人を達成

7月31日、鳥羽市リサイクルパークの来場者が15万人に達しました。リサイクルパークは、平成19年3月にオープンして以来、NPOが運営を担ってきました。新聞紙などの紙類やペットボトル、缶などの資源ごみの受け入れ、家庭用生ごみの堆肥化を行い、毎日70～90人の利用者が訪れています。

この日、15万人目の入場者となった安楽島町の濱中眞紀子さんに施設を運営するNPO法人の山西理事長と市から記念品が贈られました。



鳥羽の観光をお手伝い

NPO法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンターが、鳥羽駅を利用するかたに観光案内や車イスなどの貸し出しを行う「鳥羽駅ボランティアガイド」（駅ボラ）が8月14日～16日の3日間行われました。

ボランティアには、市内外から29人が参加し、観光客の問い合わせなどに答えていました。また、参加した澤原さんは「不意な質問に戸惑ったが、答えることができてよかった」と話してくれました。



夢はオリンピックピック出場！

7月25日～27日に東京の国立代々木競技場で開催された全国少年少女レスリング選手権大会において、小学6年生の部36kg級で優勝した市立鳥羽小学校6年の山口太一君と小学3年生の部25kg級で準優勝した市立安楽島小学校3年の中村真翔君が8月6日、市長室を訪問し、木田市長に全国制覇と準優勝を報告しました。

市長は二人の快挙を讃え、山口君は「オリンピックに出て金メダルを取りたい」、中村君は「父が出られなかったオリンピックに出て、鳥羽を有名にしたい」と力強く夢を語ってくれました。